

【東北関東大震災、原発危機で困難な日本を覚えて】

どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、
すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい
望みとを与えてくださった方で自身が、あらゆる良いわざと
ことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてください
ますように。 第二テサロニケ2章16、17節

災害から一週間、多くの感動する話しがあちこちから聞かれるよう
にもなってきました。首都圏での電力使用量も低く抑えられており、
やればできるという新しい感覚を人々に与えている反面、この一週間で
東日本各地で食料品、生活消費財が店頭から消え、被災地への物資
の輸送のための燃料もなかなか手に入らない状況にもなっています。

誰もが先ず当然のこととして自分と自分の家族の安全を確保するこ
とから始めなければなりません、それと災害地域の人々の状況のため
にすることのバランスが問われてきます。日本もここからが正念場
になって来ます。海外にいる私たちも、先ず、主の御前に頭を垂れ、
主に聞く中で、何をすべきかについて祈って参りましょう。



福島第一聖書バプテスト教会は毎年グリニッチ教会における在外邦人宣教のために熱心に祈り、支援して下さっている教会です。新会堂は地震・津波からの損傷は最小限とのことですが、教会員は退避命令により避難生活中です。上の写真は佐藤彰牧師と展望台から見た第二原子力発電所（こちらは現在復旧中であり大事故を起している第一ではない）。右は2007年12月3日、屋間の宣教報告に来てくださった方々。教会員には原発関係者が多く、命がけて被害拡散防止に務めていらっしゃいます。



●主権者、全知全能の神、同情してくださる主イエスを覚えましょう

- ・神は計り知れない御心により地震が起こることを許されました。神はこの中から必ず良いものをもたらされることを感謝しましょう。
- ・神は今困難の中にある人の葛藤や悲しみ、絶望を一切ご存知であり彼らの全ての痛みを感じ、同情されていることを感謝しましょう。
- ・命を失った方々を愛と正義の主にならねましょう。

●被災者・被災地のために祈りましょう

- ・ライフライン（水道、電気／ガス、交通、情報）が復旧するように。
- ・水、食糧、被服、その他の物資の援助が速やかになされるよう。
- ・被災者たちの心身が保たれ、慰めと励ましがあるように。特に家族の中で行方不明者、死者が出ている方々のために。
- ・これから始まる復旧・復興作業のために。

●原子力発電所の危機回避の成功、そのために働く人々のため

- ・福島第一原子力発電所、第二発電所で作業している人々のために。
- ・この危機から全国の発電設備の見直しがなされるように。

●行政・関係省庁の働き人、原発、日本のビジネス・産業のために

- ・首相はじめ、政府、関係省庁、地方の行政に携わりさまざまな判断や決定をする責任者たちのために。
- ・自衛隊、警察、消防、医療関係者のために。
- ・ライフライン復旧工事のために働く全ての人々のために。
- ・復旧・復興の支えとなる日本の全てのビジネス・産業のために。

●被災地の教会のため、日本の教会のため

- ・被災地の教会が守られ、早期に復旧することができるように
- ・被害を免れた日本の諸教会が心を合わせて祈り、人々の霊的必要性に応える働きをすることができるように。
- ・教会がキリストの手足となって具体的な働きを担えるように。
- ・多くの方々の心が神様に開かれ、霊的な復興が与えられるように。
- ・私たちのような海外日本人教会も教派を越え、心を合わせて執り成しの務めを果たし続けることができるように。

●我々を含め、日本中の方々のために祈りましょう

- ・神が私たちに自らのライフスタイルを省みるための機会を与えて下さったことを感謝し、人々が自分中心な空しい生き方を捨て、お互いを生かし合い、神に栄光を帰す生き方へと立ち返るように。
- ・人々が心を閉ざすことなく、愛に生きられるように。
- ・ボランティア等に携わる私たちも目的を失わず、あらゆる誘惑から守られるように。

●私たちと直接関わりがある人々を覚えましょう